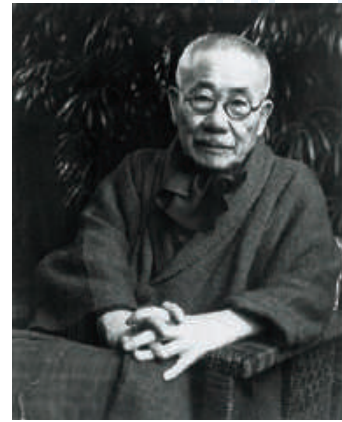


朝倉彫塑館



朝倉文夫

朝倉彫塑館は、近代日本を代表する彫刻家朝倉文夫（明治16年～昭和39年）のアトリエと住居だった建物です。朝倉は明治40年にこの地にアトリエと住居を構えました。現在の建物は朝倉が自ら設計し、昭和10年に完成しました。細部にいたるまで造形を追求し、工夫を凝らしている点が注目されます。

主な建物は国の有形文化財に登録、敷地全体が〈旧朝倉文夫氏庭園〉として国の名勝に指定されています。彫刻作品、建築、庭園を通して朝倉文夫の世界をご堪能頂ける施設です。



《たま（好日）》昭和5年（1930）



《墓守》明治43年（1910）

朝倉彫塑館の催し

常設展示

朝倉彫塑館収蔵品を順次展示しています。

特別展

年1回開催

入館料	一般 500円（300円）／小・中・高校生 250円（150円） ※（ ）内は、20人以上の団体料金 ※障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳、特定疾患医療受給者証をお持ちの方とその介護者は無料となります
開館時間	午前9時30分～午後4時30分（入館は4時まで）
休館日	月・木曜日（祝休日と重なる場合は翌平日）／年末年始／特別整理期間等
所在地	台東区谷中7-18-10 TEL (03) 3821-4549 〔JR、京成、日暮里・舎人ライナー日暮里駅（北改札口を出て西口）徒歩5分、東西めぐりん「谷中霊園入口」下車徒歩8分〕 https://www.taitogeibun.net/asakura/

下町風俗資料館 (令和7年3月(予定)～ したまちミュージアム)



[休館中]

下町風俗資料館は令和5年4月1日から大規模リニューアル工事に伴い、休館しております。再開館は令和7年3月の予定です。

下町風俗資料館は、古き良き下町の生活や文化が失われつつあった状況を危惧した声によって昭和55年に開館し、実際に使われ長い間大切にされてきたものを資料として、大正時代の下町の町並みの再現展示等をしていました。下町地域にゆかりのある資料の展示だけでなく、節分や七夕など年中行事の紹介、街頭紙芝居や伝統工芸の実演を行い、多くの来館者に親しまれていました。令和5年4月からリニューアル工事のため休館し、令和7年3月より、かつての下町の暮らしが持つ魅力を地域や国内外の人々に発信し未来へつなげる、町と暮らしの資料館「したまちミュージアム」として開館予定です。



長屋と路地 (写真は令和4年)



銭湯と番台 (写真は令和4年)

所在地

台東区上野公園2-1 TEL (03) 3823-7451
[JR・京成・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅徒歩5分、東京メトロ千代田線湯島駅徒歩5分、
都営大江戸線上野御徒町駅徒歩5分、東西めぐりん「水上音楽堂前」「京成上野駅」下車徒歩2分]
<https://www.taitogeibun.net/shitamachi/>

下町風俗資料館付設展示場 「旧吉田屋酒店」

(令和7年3月(予定)～ したまちミュージアム付設展示場「旧吉田屋酒店」)



吉田屋酒店は、旧谷中茶屋町（現谷中6丁目）の一角にあった江戸時代以来の老舗で、昭和61年まで営業していました。江戸商家の建築様式を今に伝える建物は、明治43年に新築されたものです。正面は軒下に桁が張り出した「出桁造り^{だしげたづくり}」で、二重にされた1階の出桁は商家特有の長い庇を支えています。

また出入口には横長の板戸と格子戸を上げ下げして開閉する「揚戸^{あげど}」が設けられています。入口の上に戸を納めるため、間口が広く使え、商品の運搬・販売に都合のよい構造となっています。館内には、秤、徳利、樽、宣伝用ポスターなど関連資料を展示しています。



商いに使った樽や秤



清酒・ビールなどのポスター

入館料	無料
開館時間	午前9時30分～午後4時30分
休館日	月曜日（祝休日と重なる場合は翌平日）／年末年始
所在地	台東区上野桜木2-10-6 TEL (03) 3823-4408 [東京メトロ千代田線根津駅徒歩10分、都バス（上26）谷中下車徒歩1分、東西めぐりん「旧吉田屋酒店」下車徒歩1分] https://www.taitogeibun.net/shitamachi/shitamachi_annex/

一葉記念館



樋口一葉

明治時代の女流作家・樋口一葉を顕彰する文学館です。一葉がかつて暮らし、名作「たけくらべ」の舞台となった台東区竜泉（当時は下谷龍泉寺町）の人びとの顕彰活動の集大成として、昭和36年（1961）に開館しました。

小説デビュー作「闇桜」や代表作「たけくらべ」の自筆未定稿、和歌の短冊や歌稿、小説の師・半井桃水や先輩作家・田邊花圃など交流のあった人びとに宛てた書簡、下谷龍泉寺町で荒物駄菓子屋を営んでいた時の仕入帳などの貴重な資料をはじめ、一葉が住んでいたころの町並みや一葉旧宅の模型も所蔵・展示しています。



仕入帳

一葉記念館の催し

常設展示

一葉記念館収蔵品を展示しています。

企画展・特別展

年2回開催

一葉祭

樋口一葉の命日（11月23日）を含む3日間は無料公開し、記念講演などの催し物を行います。

特別講座

くずし字解読講座や朗読会を実施しています。



一葉愛用の紅入れ

入館料	一般 300円 (200円) / 小・中・高校生 100円 (50円) ※ () 内は、20人以上の団体料金 ※障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳、特定疾患医療受給者証をお持ちの方とその介護者は無料となります
開館時間	午前9時～午後4時30分（入館は4時まで）
休館日	月曜日（祝休日と重なる場合は翌平日）/ 年末年始 / 特別整理期間等
所在地	台東区竜泉3-18-4 TEL (03) 3873-0004 [東京メトロ日比谷線三ノ輪駅徒歩10分、都バス（都08）竜泉下車徒歩3分、北めぐりん「一葉記念館入口」下車徒歩2分、ぐるーりめぐりん「一葉記念館」下車徒歩5分] https://www.taitogeibun.net/ichiyo/

旧東京音楽学校奏楽堂



「パイプオルガン」イギリスのアボット・スミス社製。パイプの総数は1,379本。

旧東京音楽学校奏楽堂の催し

奏楽堂日本歌曲コンクール

(歌唱部門・作曲部門)

毎年5月に開催

定期コンサート

【日曜コンサート】

第1・3日曜日 チェンバロ演奏

第2・4日曜日 パイプオルガン演奏

(入館料で展示と日曜コンサートをご覧いただけます。)

【日曜特別コンサート】

第5日曜日 (入場料：500円)

【藝大生による木曜コンサート】

毎月いずれかの木曜日に開催

(入場料：500円)

この他にも主催コンサートや音楽資料を公開する企画展、チェンバロやパイプオルガンの体験教室などがあります。

奏楽堂は東京音楽学校(現・東京藝術大学音楽学部)の施設として明治23年に建てられた、日本最古の洋式音楽ホールです。瀧廉太郎や山田耕筰をはじめとする日本を代表する音楽家が、この舞台上で音楽家としての基礎を学びました。また、モーツァルトやベートーヴェン等の作品が、日本で初めて演奏された由緒あるホールです。

時を経て老朽化した奏楽堂は、昭和62年に台東区によって東京藝術大学から現在の地に移築・復原。翌年には、国の重要文化財に指定されました。平成25年4月より休館し、耐震補強や保存修理、ホール客席の取替え等を行ない、平成30年11月にリニューアルオープンしました。

舞台中央にあるパイプオルガンも、コンサート用としては日本最古のものです。昭和3年に徳川頼貞侯が東京音楽学校に寄贈したもので、現在でも、その音色を聴くことができます。



「奏楽堂全景」
創建当時の姿を伝える音楽ホール。
随所に音楽ホールとして音響への配慮が見られます。

●施設使用料

曜日	使用区分	使用単位	午前	午後	夜間	全日
			9:00~12:00	13:00~16:00	17:00~21:00	9:00~21:00
木・金	全施設使用	入場料あり	22,100円	28,600円	35,100円	85,800円
		入場料なし	17,000円	22,000円	27,000円	66,000円
	リハーサル	8,500円	11,000円	13,500円	33,000円	
土・日・祝休日	全施設使用	入場料あり	29,900円	36,400円	45,500円	111,800円
		入場料なし	23,000円	28,000円	35,000円	86,000円
	リハーサル	11,500円	14,000円	17,500円	43,000円	
火・水	公開リハーサル	全施設使用	11,900円	15,400円		
		ホールのみ	6,000円	7,700円		

入館料 一般 300円(200円)／小・中・高校生 100円(50円)
※()内は、20人以上の団体料金 ※障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳、特定疾患医療受給者証をお持ちの方とその介護者は無料となります

開館時間 午前9時30分～午後4時30分(入館は4時まで)

公開日 日、火、水曜日(木・金・土曜日は、ホールの使用がない場合)

休館日 月曜日(祝休日と重なる場合は翌平日)／年末年始／特別整理期間等

所在地 台東区上野公園8-43 TEL (03) 3824-1988
[JR 上野駅(公園口) 徒歩10分、東京メトロ銀座線・日比谷線・京成線上野駅 徒歩15分、
台東区循環バス東西めぐりん(上野公園経由・三崎坂往復ルート)「旧東京音楽学校奏楽堂」下車徒歩1分]
<https://www.taitogeibun.net/sougakudou/>

書道博物館



小克鼎 (西周・紀元前9世紀)



甲骨文
(殷・紀元前13世紀)



熹平石經殘石
(後漢・熹平4年～光和6年/175～183)

書道博物館は洋画界と書道界の両分野において大きな足跡を残した中村不折^{なかむらふせつ}（慶応2年～昭和18年）が、漢字の歴史をたどる貴重なコレクションを収蔵した博物館として昭和11年に開館いたしました。

博物館には、^{きつこうじゅうこつぶん}亀甲獣骨文、^{せいどうぎ}青銅器、^{いしひん}石碑、^{きょうかん}鏡鑑、^{ほうじょう}法帖、^{きょうかんもんじょ}経卷文書など、不折が書道研究のために収集した、中国及び日本の書道に関する古美術品、考古出土品など、重要文化財12点、重要美術品5点を含む約16,000点が収蔵されています。

書道博物館は本館と中村不折記念館からなり、本館は金石類の常設展示を、中村不折記念館では、テーマに基づいた企画展・特別展を行っています。

書道博物館の催し

常設展示

書道博物館収蔵品を展示しています。

企画展・特別展

年3～4回開催

入館料	一般500円 (300円) / 小・中・高校生 250円 (150円) ※ () 内は、20人以上の団体料金 ※障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳、特定疾患医療受給者証をお持ちの方とその介護者は無料となります
開館時間	午前9時30分～午後4時30分 (入館は4時まで)
休館日	月曜日 (祝休日と重なる場合は翌平日) / 年末年始 / 特別整理期間等
所在地	台東区根岸2-10-4 TEL (03) 3872-2645 [JR 鶯谷駅 (北口) 徒歩5分、 北めぐりん (根岸回り) 「入谷区民館根岸分館 (書道博物館)」 下車徒歩3分] https://www.taitogeibun.net/shodou/

台東区立文化施設の団体見学に関する情報

以下の情報は、状況により変更になる場合がございます。
 団体見学をご希望の方は、各施設に事前予約をお願いいたします。
 そのほか、詳細・ご不明点などは直接各施設へお問い合わせください。

施設名	朝倉彫塑館	一葉記念館	旧東京音楽学校奏楽堂	書道博物館
所在地	台東区谷中7-18-10 JR、京成、日暮里・舎人ライナー 日暮里駅(北改札口を出て西口) 徒歩5分	台東区竜泉3-18-4 東京メトロ日比谷線 三ノ輪駅 徒歩10分	台東区上野公園8-43 JR上野駅(公園口)徒歩10分、 東京メトロ銀座線・日比谷線・京成線 上野駅 徒歩15分	台東区根岸2-10-4 JR鶯谷駅(北口) 徒歩5分
電話	03-3821-4549	03-3873-0004	03-3824-1988	03-3872-2645
開館時間	9:30~16:30 (入館は16:00まで)	9:00~16:30 (入館は16:00まで)	9:30~16:30 (入館は16:00まで)	9:30~16:30 (入館は16:00まで)
休館日	月・木曜日 (祝休日と重なる場合は翌平日) 年末年始、特別整理期間等	月曜日 (祝休日と重なる場合は翌平日) 年末年始、特別整理期間等	月曜日 (祝休日と重なる場合は翌平日) 年末年始、特別整理期間等 公開日/日、火、水曜日の ほか、ホール使用のない日	月曜日 (祝休日と重なる場合は翌平日) 年末年始、特別整理期間等
入館料	500円/ 小・中・高校生 250円	300円/ 小・中・高校生 100円	300円/ 小・中・高校生 100円	500円/ 小・中・高校生 250円
団体入館料金	300円/ 小・中・高校生 150円	200円/ 小・中・高校生 50円	200円/ 小・中・高校生 50円	300円/ 小・中・高校生 150円
団体人数	20名以上(少人数のグループは、団体料金適用外となります)			
団体受入 可能日時	要事前相談予約 事前説明は平日のみ対応 ただし、人数や時期など によっては、できない場合あり	要事前相談予約 一葉祭開催期間(11/23前後) 等受入れ不可の場合あり	要事前相談予約 建物公開日のみ対応 ただし、コンサート開催日 は受入不可	要事前相談予約 展示解説が必要な場合は、 15:00まで
対応人数	上限40名程度 10名程度のグループに分か れて入館	上限30名程度 それ以上の場合、グループ 分けが必要	上限30名程度	上限60名程度。ただし30 名を超える場合は、2グル ープに分け記念館と本館を 交互見学
館内案内・ 展示解説	入館案内等が必要な場合は、事 前に連絡をお願いいたします 音声ガイドもご用意しています	質疑応答、展示説明が必要 な場合は、事前連絡をお願 いいたします	ホール概要や展示説明が必要 な場合は、事前連絡をお願 いいたします	展示解説が必要な場合は、事 前に所定の用紙による、事前 申込みが必要となります
見学所要時間	30~60分	30~60分	30~60分	60分
トイレ	トイレ数少ない バリアフリートイレ：なし ベビーベッド：あり	トイレ数少ない バリアフリートイレ：あり ベビーベッド：あり	トイレ数少ない バリアフリートイレ：なし ベビーベッド：なし	トイレ数少ない バリアフリートイレ：あり ベビーベッド：なし
エレベーター	なし	1機	なし	1機
ロッカー	なし	あり	なし	あり
駐車場	施設の駐車場はなし/近隣有料駐車場をご利用ください			
施設内飲食	館内飲食禁止/自販機等の飲食施設なし			
周辺飲食店	谷中銀座商店街など 施設周辺に多数あり	三ノ輪駅周辺にあり	上野駅周辺・公園内にあり	コーヒーショップ、 洋食屋など

※下町風俗資料館は令和5年4月~令和7年3月(予定)まで休館中のため除く
(令和5年12月現在)

台東リバーサイドスポーツセンター

隅田川の歴史と風土に培われ、緑と水の環境に恵まれた総合体育館です。「見るスポーツから参加するスポーツ」として子どもから高齢者まで手軽に楽しめる機能的な総合体育館です。



トレーニング室



第1競技場

施設の概要

屋内施設（体育館）

- ・第1競技場 4階 36m×42m 5階 選手控え席 435席 車いす用5席
- ・第2競技場 2階 36m×19.5m
- ・第1武道場 3階 30m×19.5m 柔道公式試合場（50畳）×2面
- ・第2武道場 2階 30m×19.5m 剣道公式試合場（11m×11m）×2面
- ・弓道場 5階 32.5m×12m
- ・相撲場 B1階 12m×9.7m
- ・エアライフル場 B1階 10m×14m
- ・卓球場 B1階 24m×14m 12台（練習用）
- ・トレーニング室 1階 29.2m×15.7m
- ・会議室 3階 8m×6.5m×3室
- ・更衣室 4階 ロッカー男女各50個
- ・地下更衣室 B1階 ロッカー男子110個・女子100個



第2武道場



陸上競技場



テニスコート



野球場

屋外施設

- ・ **陸上競技場** トラック（全天候型舗装路） 1周200m×6コース 直走路100m×8コース
フィールド 人工芝 メインスタンド 1,040人収容 体育準備室 31.7m×9.4m
更衣室ロッカー男女各96個
- ・ **テニスコート** 5面（人工芝）ナイター設備あり
- ・ **野球場** 2面（7,220㎡×2、人工芝）ナイター設備あり
- ・ **水泳場**（屋外：夏季期間のみ）大プール50m×19m（水深120～145cm）
小プール20m×15m（水深80～90cm）
変形プール 98㎡（水深30cm）※幼児用
- ・ **少年野球場** 1面（5,087.5㎡）

開館時間	<p>開館時間 午前9時～午後10時（最終入館は9時まで） ※第1月曜日及び休日の月曜日は午後6時まで（最終入館は5時まで）</p> <p>窓 口 午前9時～午後7時 ※第1月曜日及び休日の月曜日は午後5時まで</p>
休館日	<p>毎週月曜日（第1月曜日及び休日の月曜日を除く） 年末年始（12月29日から1月3日まで）</p>
所在地	<p>〒111-0024 台東区今戸1-1-10 体育館 電話（03）3872-3181 陸上競技場・野球場・庭球場 電話（03）3872-6820</p> <p>東京メトロ銀座線 浅草駅（5番出口） 都営地下鉄浅草線 浅草駅（A5出口） } 下車 徒歩12分 東武スカイツリーライン 浅草駅（北口） }</p> <p>都バス「東42乙」系統 リバーサイドスポーツセンター前下車 すぐ 都バス「東42甲」系統 浅草七丁目下車徒歩5分 北めぐりん（浅草回り）リバーサイドスポーツセンター前下車 すぐ ぐるーりめぐりん リバーサイドスポーツセンター前下車 すぐ https://www.taitogeibun.net/riverside/</p>